

記者発表: 徳島県政記者クラブ

平成28年7月27日  
四国地方整備局  
小松島港湾・空港整備事務所

## 新しい港湾業務艇が完成しました ～ 港湾業務艇「ひのみね」の就航式を開催します ～

7月末を以て勇退する当事務所所属の港湾業務艇「しまかぜ」に替わり、8月より、新しい港湾業務艇「ひのみね」が就航します。

港湾業務艇は、港湾工事の監督、海域の測量、防災業務や港湾施設の点検・調査など多目的な利用を目的として配備するものです。

なお、港の役割を知っていただくために開催する「みなと見学会」などの機会には、市民の皆様にも乗船いただけます。

今回、「ひのみね」の就航式を下記のとおり開催いたします。

### 記

- 日時 就航式 平成28年8月5日 14時00分～14時20分  
記念航海 平成28年8月5日 14時25分から  
※マスコミ関係の皆様につきましては、今回は乗船定員の関係から船体撮影と出港風景の撮影までとさせていただきます。なお、改めてマスコミ関係の皆様を対象とし、「ひのみね」による「みなと見学会」を別途ご案内させていただきます。
- 場所 徳島県小松島市小松島町字新港19(別添図参照)  
小松島みなと交流センターkocolo 南側  
※雨天時は、四国地方整備局小松島港湾・空港整備事務所 会議室
- 主催 小松島港湾・空港整備事務所
- 参加者 地元自治体関係者ほか
- その他 港湾業務艇「ひのみね」の概要については、添付資料をご覧ください。取材を希望される方は別紙申込様式にて、FAXで申し込みください。なお、申込期限を、8月3日17時までとさせていただきます。

※ 本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.1 南海トラフ地震をはじめとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト】などに該当します。

### 【問い合わせ先】 ◎: 主な問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所 電話 0885-32-3357

副 所 長: 新見 泰之  
◎沿岸防災対策官: 大野 誠彦

### 昭和南海地震から70年

今年は、1946年12月21日の昭和南海地震発生後70年目に当たります。四国地方も昭和南海地震により、甚大な地震・津波被害を受けました。

四国地方整備局では、地域の皆様に、津波防災対策やその重要性について一層の理解を深めていただく観点から、平成28年度は年間を通じて、津波対策に関する講演会その他行事の開催の機会に、昭和南海地震について改めて紹介していく予定です。

別紙

小松島港湾・空港整備事務所  
沿岸防災対策室 宛

FAX:0885-35-0010

港湾業務艇「ひのみね」就航式  
の取材申込書

貴社名		
連絡先	TEL:	FAX:
代表者		
取材者		
連絡事項など		

# 会場案内図

別添図



出典: 国土地理院ホームページ  
加工: 四国地方整備局  
小松島港湾・空港整備事務所



出典: 国土地理院ホームページ  
加工: 四国地方整備局  
小松島港湾・空港整備事務所



# 港湾業務艇「ひのみね」ってこんな船

ひのみね

Ver. 0



S・Di・Cs

港湾業務艇

## 特徴・特技

小松島港湾・空港整備事務所の3代目港湾業務艇(監督測量船)。

船速が向上したことにより、四国の港湾業務艇の空白域であった徳島県南部から高知県東部がカバーされた。

海底地形探査装置が常設されたことで、災害時に即座に測量が可能となり、航路の緊急確保が図られる。

## SHIP-Data

担務海域：播磨灘南部、紀伊水道西部

総トン数：19GT

最大航海速力：25ノット

最大搭載人員：20名

全長／型幅／型深さ／喫水：

17.00m／4.20m／2.0m／0.68m

建造：平成28年7月

船籍：小松島市

所属：国土交通省 四国地方整備局小松島港湾・空港整備事務所

搭載機能・業務 凡例

- ・S: 測量
- ・Di: 監督
- ・Cs: ゴミ探査
- ・Ce: 海面清掃
- ・O: 油回収
- ・T: 総合水質調査
- ・Do: ドラグサクシオン